



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 群栄化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4229 URL http://www.gunei-chemical.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)有田 喜一郎
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理本部長 (氏名)瀧井 康雄 (TEL)027-353-1810
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	13,052	3.6	1,244	△6.6	1,381	0.5	982	△2.0
29年3月期第2四半期	12,599	△6.2	1,332	7.3	1,374	8.4	1,002	6.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,385百万円(77.7%) 29年3月期第2四半期 779百万円(19.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	141.77	—
29年3月期第2四半期	143.00	—

(注) 当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	51,696	41,454	77.8
29年3月期	51,216	40,452	76.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 40,211百万円 29年3月期 39,201百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	4.00	—	40.00	—
30年3月期	—	40.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成29年3月期第2四半期末配当金4円00銭の内訳は、普通配当3円00銭と記念配当1円00銭になります。

また、当社は平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成29年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	2.5	2,200	△19.3	2,400	△17.9	1,700	△8.4	245.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年3月期2Q	8,998,308株	29年3月期	8,998,308株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	2,077,771株	29年3月期	2,066,820株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期2Q	6,930,310株	29年3月期2Q	7,007,450株
----------	------------	----------	------------

(注) 当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の緩やかな成長に伴い輸出が増加基調となり、また、企業収益の回復による雇用・所得環境の改善や個人消費の持ち直しなど、緩やかな回復基調が継続いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループは、グループの更なる事業基盤の強化を図り、事業環境の変化に対応し、製品の高付加価値化に取り組み、新規顧客の獲得やきめ細かい技術指導を行うなど積極的な事業活動を行ってまいりました。

化学品事業においては、電子材料向け樹脂及び住宅関連向け樹脂、自動車関連向け樹脂、建設機械向け樹脂が堅調に推移した結果、増収となりました。

食品事業においては、異性化糖の各種飲料向けが伸び悩んだ結果、減収となりました。

不動産活用業は、ほぼ前年並みで推移いたしました。

以上の結果、当社グループの売上高は前年同期比3.6%増加の13,052百万円となりました。

利益面では、グループ全体で生産性の向上及びコスト削減の取り組みを実施いたしましたが、在外子会社の伸び悩みや、輸入原材料価格の上昇等の影響を受けたことにより、営業利益は前年同期比6.6%減少の1,244百万円となりました。経常利益は前年同期比で為替差損が減少したこと等により0.5%増加の1,381百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は税効果会計の影響等により前年同期比2.0%減少の982百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べ480百万円増加し、51,696百万円となりました。これは、主に当第2四半期連結会計期間末が金融機関の休日だったため売上債権の回収が翌月になり増加したことによるものです。

負債合計は前連結会計年度末と比べ522百万円減少し、10,241百万円となりました。これは、主に当第2四半期連結会計期間末が金融機関の休日だったため仕入債務の支払いが翌月になり増加しましたが、借入金及び未払金、未払法人税等が減少したことによるものです。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ1,002百万円増加し、41,454百万円となりました。これは、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年10月18日発表の通期の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,758	8,789
受取手形及び売掛金	6,857	7,553
有価証券	2,101	1,601
商品及び製品	1,515	1,601
仕掛品	532	677
原材料及び貯蔵品	916	989
その他	398	407
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	22,079	21,619
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,665	21,750
減価償却累計額及び減損損失累計額	△15,520	△15,695
建物及び構築物（純額）	6,144	6,054
機械装置及び運搬具	29,628	29,703
減価償却累計額及び減損損失累計額	△26,619	△26,897
機械装置及び運搬具（純額）	3,009	2,806
土地	7,969	7,969
リース資産	138	111
減価償却累計額及び減損損失累計額	△84	△61
リース資産（純額）	53	50
建設仮勘定	397	938
その他	2,799	2,856
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,399	△2,422
その他（純額）	399	433
有形固定資産合計	17,974	18,254
無形固定資産	34	32
投資その他の資産		
投資有価証券	9,871	10,619
その他	1,334	1,248
貸倒引当金	△78	△78
投資その他の資産合計	11,127	11,790
固定資産合計	29,136	30,076
資産合計	51,216	51,696

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,103	3,602
1年内返済予定の長期借入金	654	600
未払金	1,866	1,411
未払法人税等	646	350
賞与引当金	362	383
その他	123	179
流動負債合計	6,758	6,528
固定負債		
長期借入金	1,650	1,350
環境対策引当金	35	11
固定資産撤去引当金	21	21
退職給付に係る負債	1,711	1,696
その他	586	634
固定負債合計	4,005	3,713
負債合計	10,763	10,241
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	25,689	25,689
利益剰余金	12,469	13,174
自己株式	△5,454	△5,495
株主資本合計	37,705	38,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,531	1,851
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	25	39
退職給付に係る調整累計額	△61	△48
その他の包括利益累計額合計	1,495	1,843
非支配株主持分	1,251	1,242
純資産合計	40,452	41,454
負債純資産合計	51,216	51,696

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	12,599	13,052
売上原価	9,513	10,022
売上総利益	3,085	3,029
販売費及び一般管理費	1,752	1,785
営業利益	1,332	1,244
営業外収益		
受取利息	31	28
受取配当金	48	57
持分法による投資利益	7	12
環境対策引当金戻入額	—	23
その他	24	29
営業外収益合計	112	152
営業外費用		
支払利息	9	3
為替差損	46	—
その他	15	11
営業外費用合計	70	14
経常利益	1,374	1,381
特別利益		
保険差益	0	9
受取和解金	43	—
その他	0	0
特別利益合計	43	10
特別損失		
固定資産処分損	25	13
その他	0	—
特別損失合計	26	13
税金等調整前四半期純利益	1,391	1,378
法人税、住民税及び事業税	327	317
法人税等調整額	△24	32
法人税等合計	303	350
四半期純利益	1,087	1,028
非支配株主に帰属する四半期純利益	85	46
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,002	982

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,087	1,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96	324
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△416	23
退職給付に係る調整額	13	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△4
その他の包括利益合計	△308	357
四半期包括利益	779	1,385
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	859	1,330
非支配株主に係る四半期包括利益	△79	55

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計 (注)
	化学品事業	食品事業	不動産活用業	
売上高				
外部顧客への売上高	9,792	2,685	121	12,599
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	9,792	2,685	121	12,599
セグメント利益	1,212	41	78	1,332

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計 (注)
	化学品事業	食品事業	不動産活用業	
売上高				
外部顧客への売上高	10,506	2,423	122	13,052
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	10,506	2,423	122	13,052
セグメント利益	1,099	62	82	1,244

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。